

令和6年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
34	川崎市立向丘中学校	堀口 和也

学校教育目標	今年度の重点目標
<p>学び合い 高め合い ともに生きる 向丘プライド 自他のよさを見つけ、伝え、伸ばそう</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒参加型でわかる授業の推進</li> <li>2 生徒個々の困り感に寄り添うことのできる支援教育の推進</li> <li>3 生徒自ら考え判断する生徒の育成</li> <li>4 生徒や保護者、さらに地域の方々の意見を大切にしたり、学校づくり</li> </ol>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 わかる授業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとってわかる授業の実践を通し、基礎・基本の定着を図る</li> <li>・生徒参加型の授業の推進とGIGA端末の有効利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育センターの拡大要請訪問を実施し、最新の指導・評価方法を学んだ。</li> <li>・GIGA端末などを利用し、生徒一人一人の考えを基に、意見交換を行い、生徒にとって「わかる」授業の実践を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更に授業の質の向上を目指すために、教科の打合せを大切な時間ととらえ、共通な課題については、学校全体で検討する。</li> <li>・生徒の興味・関心を高めるために、GIGA端末などのよりよい活用方法を検討し、生徒一人一人の意見や考えを交流する機会を設ける。</li> </ul>
2 支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困り感のある生徒へのきめ細かな支援と支援体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援教育に関わる内容を会議などで定期的に伝え、情報の共有化を図った。</li> <li>・生徒の様子を、アンケートや面談などを通して把握し、それぞれの困り感について、具体的な方法で対応できるように取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困り感のある生徒を把握し、具体的な対応策を検討し解決に向けて取り組めるように、情報提供の場を継続的に設ける。</li> <li>・どのようなときに支援が必要なのか、全ての教師がその視点をもちながら、教育活動が行えるように、最新の支援教育の取り組みや情報を定期的に発信する。</li> </ul>
3 生徒自ら考え判断する生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意見が反映される生徒会・委員会活動の推進</li> <li>・選べることを通し、生徒の自覚と責任感の育成</li> <li>・生徒の納得感を大切にしたりした生徒指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会や委員会活動で生徒の意見が反映されるように、教師が適切に助言し、発表する機会を設けた。</li> <li>・生徒一人一人への声かけ等、日頃から生徒との関わりを大切にしたり、物事の決定には、選択肢を用意し、生徒が納得感を得られるよう指導を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会や委員会活動の取組としてよかった点は、関わった教師だけではなく、どの教師も意識的に生徒に声掛けを行う。</li> <li>・生徒自ら考え判断できた具体的な例を基に、研修する機会を設け、生徒の学校生活が充実できるように、学校全体での取組を目指す。</li> </ul>
4 様々な意見を大切にしたり学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方々の意見を大切にしたり、PTA・教育懇話会・同窓会や学校教育推進会議等との連携・協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAとは役員を中心に、よりよい学校に向け意見交換を行い、保護者が学校の行事等に関わりやすい体制を進めた。</li> <li>・学校教育推進会議の方々に学校の様子を知ってもらい、学校の現状を理解してもらい、今後の地域との関わり方について、共に考えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方々の学校への関わり方については、現状を踏まえ無理のない参加の仕方を検討し推進する。</li> <li>・教師の働き方改革に関しては保護者に周知し、共に理解を進め、よりよい教育活動ができるように働きかける。</li> </ul>

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>社会の流れにより、様々な生徒に対応した取組に高い評価をしたい。子どもたちだけではなく、私たち保護者や地域の方々と連携し、学校づくりに関わることができた。子どもたちが元気に健やかに学校に通えるように、標準服をリニューアルを検討し、PTA主催のフェスタなどを子どもたちと協働しながら取り組めたのは、校長先生をはじめ先生方の理解や協力があったものだと思う。今後も子どもたちの個性が輝く学校づくりに取り組んでみたい。</p>	<p>「学校生活・学校教育活動アンケート」は、GIGA端末を活用して、生徒、各家庭の協力を得て、取りまとめることができた。アンケートの内容は概ね良好な結果となったが、次年度に向けては、生徒にとってわかる授業の実践を進め、学習内容の確実な定着を目指したい。また、学校生活や学習に困り感をもっている生徒への支援の在り方を考え、学校目標につながる自己肯定感の向上に努めていきたい。来年度も協力的な保護者や地域の方が多いよさを生かし、更に、生徒や学校の活動が応援される学校を目指したい。</p>